

09年3月26日市警ニュース

JSSによる情報提供

## 本年9番目の死亡自動車事故

09年3月25日の午後9時半頃警察は、ブルージェイズ通りとフロント通りの交差点で起きた人身事故の通報で出動した。

報告によると、

- ・ フロント通りがブルージェイズ通りに出会う地点で、配達用トラックが南を向いて赤信号で停まり、右折しようとしていた、
- ・ トラックが曲がりかかったところで28才の女性が、フロント通り西側の横断歩道を南に向かって渡り始め、
- ・ 携帯電話で話をしていた女性は、トラックのすぐ脇に近づき、
- ・ 女性は地面にたたきつけられ、トラックの後輪に轢かれた。

被害者は現場で死亡が確認された。

本件に関する情報を持っている人は、警察(416-808-1900)、もしくは匿名でクライムストップーズ[電話 416-222-TIPS (8477)、オンライン [www.222tips.com](http://www.222tips.com)、もしくはテキストで TOR にメッセージを CRIMES (274637)]まで連絡されたい。

市警交通部はトロント市内の、安全で規則正しい交通の実現に注力している。交通部の活動状況については、Twitter (TrafficServices) または Facebook (Toronto Police - Traffic Services) を通じて確認していただきたい。

## JSS 説明

トロント市内の死亡交通事故では、約半数は歩行者が被害者で、またその約半数は高齢者であると言われている。昨年11月に市警は歩行者事故を撲滅するべく、歩行者が運転者の注意を引くことを奨励する運動を行った。結果として歩行者事故が減少しているかどうかの統計はないが、つい最近にも、歩行者がバスに乗ろうとして横断歩道を離れて事故に遭った、横断歩道のないところを横断して事故にあったなどの例は依然枚挙に暇はない。

訳出した発表は、被害者が携帯電話を使用しながら歩行中に車に巻き込まれた死亡自動車事故である。発表を見る限り、歩行者はそこに車が来ることはもとより、自分が車に接近していたことさえ気付かなかったようだ。車サイドに何らかの落ち度があったかどうかは記述がないが、ともあれ歩行者は周囲にまったく注意しないで歩行していたことは明白なようだ。

車は走る凶器だという。事故現場は車の行き来が激しいところであり、言い換えれば凶器の真っ只中である。不注意どころか、周囲にまったく意を配らない歩行は、極めて危険である。